

【事前質問】

資料	頁	内容	回答
3	6	<p><「社会基盤」としてのデジタルの浸透・拡大> データセンターの設置は下に書いてあるように「膨大な電力」と大量の冷却水が必要とされるが、それが「エネルギー効率の向上最適化や資源管理の高度化に貢献」することになるのか？</p>	<p>ご指摘のように、データセンター自体は電力や冷却水等のリソース消費は膨大となりますが、データセンターで動くAIやビッグデータ解析が、他の産業の無駄を削ぎ落とし、「社会全体の効率化」を支える頭脳として、トータルではプラスの貢献になると考えられます。具体的には、エネルギーの管理部門においては、AIがスマートグリッド（次世代送電網）を制御し、リアルタイムで電力の需要と供給のバランスの最適化を図ったり、物流・製造部門では、最短ルートの計算や工場の稼働予測により、燃料消費や原材料の廃棄を大幅に抑制したりしています。また、物理的な移動（出張や物流）をデータ通信に置き換えることで、環境負荷の低減も図られています。</p>
3	9	<p>環境対策に取り組む上で支障になっていることについて…… 「経済的理由により厳しい」とは具体的にどういうことが想定されるのか</p>	<p>住宅の断熱改修や太陽光発電設備の導入といった初期費用がかかる対策、あるいは、環境に配慮した製品は一般的に価格が高くなる傾向があるため、それらの購入をためらう、といった状況が想定されます。</p>
3	27	<p>「市民の省エネ行動の変容」とは具体的にどういうことか</p>	<p>「気候危機打開!むさしの市民エコアクション」に掲載されているような行動です。例えば照明のこまめな消灯、エアコンの適切な温度設定、エアコンフィルターの定期的な清掃といった日頃の省エネ習慣のほか、自転車や公共交通機関の積極的な利用、エネルギー消費量の見える化による意識向上など、多岐にわたる行動が考えられます。</p>
4	1	<p>⑤課題 「…8年間が経過し、少なからずPDCAが形骸化しつつある」とは、当初の意図が薄れつつあるということか、それともマンネリ化している等ということか</p>	<p>以前に委員からご指摘をいただいたことから、こちらの表現は本日の資料にて修正しております。 EMSが定着した一方で部署によっては作業化しており、エネルギー使用量を把握し、その結果を次年度の行動に結び付けて改善するというサイクルが十分に機能していない状態です。</p>

第13期環境市民会議第7回事前質問・意見一覧

【意見】

資料	頁	意見
2	1	第4条(4)は、「前3号に掲げる <u>もの</u> のほか、」となっているが、前3号は各々具体的に「 <u>者</u> 」を示しており、第6条(3)の場合の「 <u>もの</u> 」とは異なり、「前3号に掲げる <u>者</u> のほか」でよいのではないか。
3	1	目次のI第五期環境基本計画の概要の(4)は「 <u>施策体系</u> 」となっているが、本文P2では「 <u>基本理念と施策体系</u> 」となっており、不一致。
3	13	目次の5前期施策の()内、(令和3年度から令和7年度まで)は、本文P13では(令和3(2021)年度～令和7(2025)年度)となっており、合わせた方がよいのでは。目次の6の()内も同様。
3	16	PIの(1)計画の位置づけは、P2(上から34行目)、P16(下から45行目)では、「 <u>位置付け</u> 」となっており、不一致。